

海岸防潮堤等整備に関する市民説明会及び意見交換会
(大川河口前浜～母体田～面瀬川)

■日時 平成24年7月 20 日(金)18:30～

■参加者 約 110 名

■主な意見

※ 気仙沼土木事務所が管理する海岸及び河川へは次のような意見が出されました。

- ・片浜海岸の占用手続きをしていない排水施設の整備は可能か。
→占用物件は基本的に機能補償となりますが、相談します。
- ・面瀬川の JR 橋上流は 5.8m～5.0m 計画に対して今回の津波はもっと高かったが大丈夫か。
→今回の津波は千年に一度の最大クラスの L2 津波であり、堤防整備は、数十年から百数十年の L1 津波を対象に高さを設定しています。
- ・前浜地区の導流堤が被災しているのので、復旧して欲しい。
→災害では採択されていませんが、現地を確認します。

※ 他の海岸管理者に対しては次のような意見が出されました。

- ・片浜地区に大島の救急搬送船が着いているが、干潮時を考え浮き栈橋を造って欲しい。
- ・防潮堤整備に伴い排水の位置や高さはどうなるのか。
- ・堤防が高くなることによる荷上げ場への車の行き来はどうなるのか。
- ・堤防位置を陸側に造って欲しいとの要望があったと思うが、対応可能か。
- ・防潮堤の開口部に陸閘を設けた場合、誰が閉めに行くのか、対応できないのではないか。
- ・海側に堤防を建設すれば環境や養殖への影響があると思うが、どう考えているのか。
- ・コンクリートでの整備だが、人命の次は環境も大切である。

